

◎ 年間スケジュール

| | | 2月～7月 | 8月～1月 | 2月～4月 | 5月～8月 | 9月～11月 | 12月～1月 | |
|-------------|-----------|--|--------|---|--------|---|--------|--|
| 学校行事 | | 期末テスト 三者面談 | | | | | | |
| トライ対策スケジュール | 5年 基礎力養成期 | <ul style="list-style-type: none"> ・四谷大塚予習シリーズ6年生上：入試に向けた基礎単元の学習。1週間1単元として4回で総合テストを行い理解度の確認をはかる。 ・四谷大塚予習シリーズ5年生上 | | 6年 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・新小学校問題集(基礎編)6年、算数の計算と1行問題を同時にこなすと尚良い。 ・四谷大塚予習シリーズ5 | 応用力養成期 | <ul style="list-style-type: none"> ・四谷大塚予習シリーズ | 発展力養成期 | <ul style="list-style-type: none"> ・近畿の中学入試問題：基礎単元の確認で多くの入試問題にあたる。 ・新小学問題集発展編6年 | 実践力養成期 | <ul style="list-style-type: none"> 清風南海の過去問を3回解く：傾向と対策の学習と時間配分を目的に3回解く。3回目は満点が取れるように。 |
| ポイント | | 計算力を正確に・迅速に！(確実に点数を獲得しなければ合格は見えない) 基礎的な例題を確実に理解！(応用問題は基礎がわかっていないと解けない問題が多い) 模試を有効活用する！(浜学園、能会などの模試を数多く受験し発展問題の応用力を確かめる！) | | | | | | |

◎ こういう生徒にお勧め！

現在トライを利用中の方に最適なプランです。
 ・ 中学年「塾に行き始めたばかりでギャップがある」
 「志望校に対して早めに対策したい」
 ・ 高学年「塾の内容についていけない」
 「家で勉強しているのに成果が出ない」

◎ 対象エリア

対象学年：小学4年～6年生
 対応地域：近畿圏内
 指導期間：お申し込み時から受験日の月末

◎ 対策の特徴

特徴1
 生徒の性格に沿ったプロ家庭教師の指導が受けられる
 特徴2
 志望校に対して足りない点などを効率的に指導できる
 特徴3
 塾併用の場合の勉強が無駄にならない指導。塾の宿題のスピードアップ。
 対応教師
 セレクトBからプロアドバンスの教師

◎Data Mining

| | |
|--------------|--|
| 入試データ & ポイント | 平成21年度は募集人数230人に対し、受験者数952人、合格者543人、合格最低点256/400点。ポイント：・試験については下記の(ア) (イ)で成績処理を行い、高得点の方を受験生の得点として合否の判定を行う。(ア)4教科の合格得点(400点満点) (イ)国語、算数、理科の総合計に1.25倍の点数(400点満点換算) |
| 算数 | 試験時間60分。・計算問題は複雑なものが多く、数の性質を理解しておく必要。全体的に時間が足りないために、時間短縮かつ正確性が出るかがポイント。・一文問題は比や割合を利用する問題が多い。解答にいきつく為にいくつかの段階を踏む必要があるため、基礎例題を踏まえて応用力への発展力を身に付けておく必要がある。・応用問題に関しては全体的にレベルが高い問題が多い。特に図形、文章題は日ごろの訓練が必要、出題分野：計算問題(小数分数の四則混合計算、規則性問題)、一文問題(仕事算、方陣算、つるかめ算、面積、体積)、応用文章題(速さ、規則性、表とグラフ、平面図形) |
| 国語 | 試験時間60分。・長文は2題。物語と論説文。文字量が非常に多く読み直しをする時間が無い。選択式の問題が多いため、意味を確実に理解しながら読み進める力を養っておく。・漢字に関してはレベルが高く、量も多い。日ごろの学習量を増やして基礎知識定着を。読み書きが多いため書けるようになること。・その他外来語や言葉の意味を問われる問題も多い。日ごろから気にして学習環境を整える必要がある。出題分野：物語文1、論説文1、漢字10など |
| 理科 | 試験時間40分。目標点数52点。難問は少ないが基礎知識ありきで応用力が試される。選択問題が多いが、解答にいきつく為に時間がかかるため日ごろからいろんなパターンの問題にあたっておく必要がある。出題分野：物理分野(記述式3、化学分野(選択式5、記述式4)、生物分野(選択式5、記述式2)、地学分野(選択式4、記述式2) |
| 社会 | 試験時間40分。目標点数55点。・地理は各地区別に特色、産業を整理してまとめておく必要がある。・歴史は正誤判断の難しい問題も多く、細かい部分で正確に記憶しておく必要あり。出題分野：地理1、歴史1、公民1(公民：日本国憲法を中心に政治についての出題が多い。最近のニュースや話題について関連する知識を身に付ける必要がある。) |